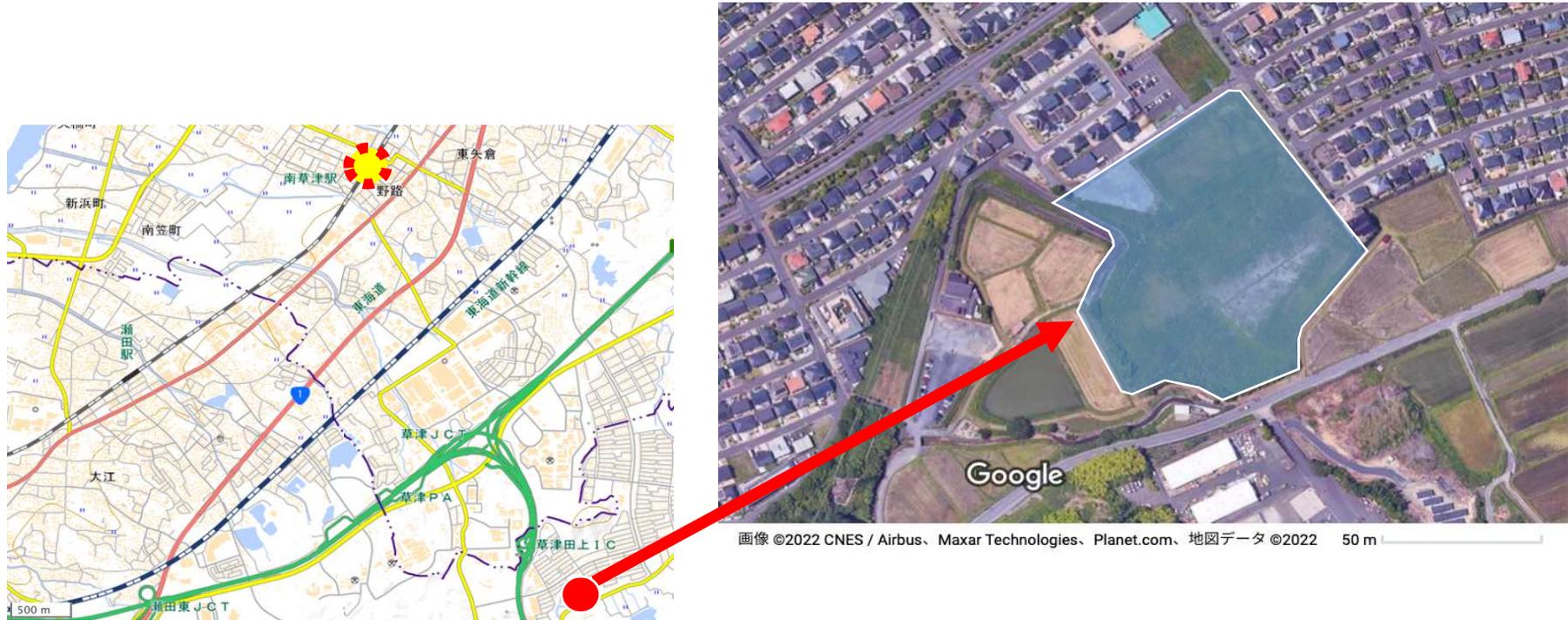
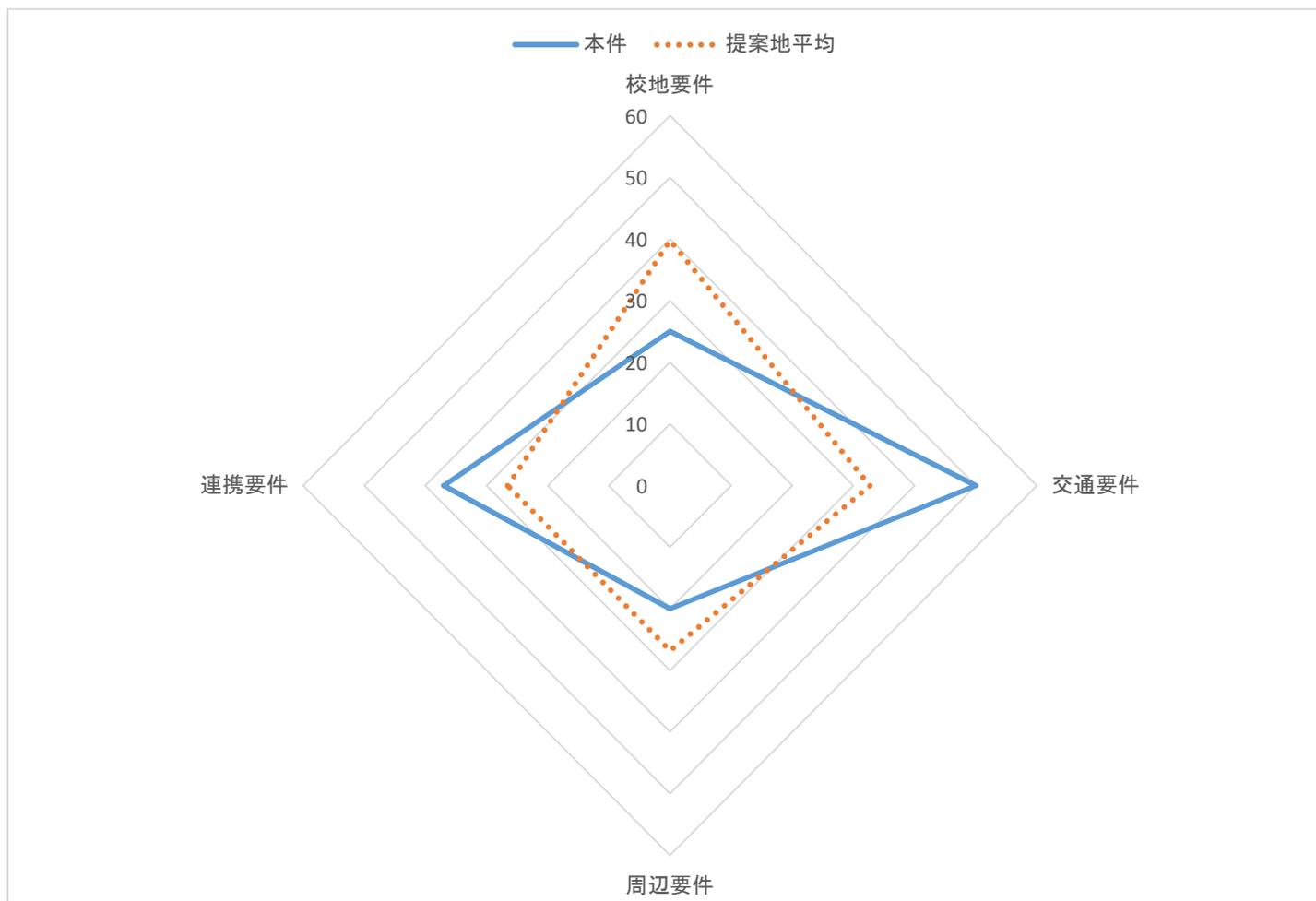


1 大津市青山学区市有地

所在地 所在図 土地形状	<p>大津市松が丘七丁目</p>  <p>地理院地図より作成</p> <p>画像 ©2022 CNES / Airbus、Maxar Technologies、Planet.com、地図データ ©2022 50 m</p>
交通条件	JR琵琶湖線 南草津駅 5km バス20分 徒歩65分
土地面積 法令条件等	<p>23,470 m²</p> <p>市有地 (県に無償貸付)</p> <p>現状:更地</p> <p>市街化区域(第一種中高層住居専用地域)</p> <p>農地でない</p> <p>埋蔵文化財包蔵地でない</p>
危険度	<p>浸水可能性(10年確率) なし</p> <p>液状化可能性(PL値) PL値0(一部15)</p> <p>周辺の活断層の存在 なし</p>
その他	

1 大津市青山学区市有地



区分	本件	提案地平均	順位
校地要件	25	39.8	9
交通要件	50	32.7	1
周辺要件	20	26.8	9
連携要件	37	26.6	2
総合点	0	0.0	1
小計	132	125.8	4
コスト要件	0	3.1	5
合計点	132	128.9	5

1 大津市青山学区市有地

項		目	配点	内容	評価	点数
必須要件		① 最低限の校地面積	必須		○	
		② 用地取得の確実性	必須		○	
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須		○	
		④ 危険区域の有無	必須		○	
校地要件	安全性	1-1-1 浸水可能性	3	なし	◎	3
		1-1-2 液状化可能性	3	PL値0（一部15）	◎	3
		1-1-3 活断層の有無	6	なし	◎	6
	建築・設計の柔軟性	1-2-1 校地面積	30	20,000㎡以上	×	0
		1-2-2 景観条例や建蔽率等の制限	3	なし	◎	3
		1-2-3 土地の形状	15	整形・段差あり・2方向	○	10
		小 計	60			25
交通要件	通学の容易性	2-1-1 公共交通の利便性	9	10.1本/h	◎	9
		2-1-2 県内からのアクセス（後背人口）	30	33,721	○	20
		2-1-3 県外からのアクセス	15	51,475	◎	15
		2-1-4 通学経路の安全性等	6	危険箇所なし	◎	6
		小 計	60			50

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9
		3-1-3	学生の便利施設の立地	6	コンビニ○、医院◎	△	2
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6			
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6			
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3			
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15			
3-3-2		住宅密集地までの距離	6	近接し、住居系の用途地域である。	×	0	
		小計	60			20	
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	3km以内（滋賀医科大学,立命館大学,） 15分以内（滋賀大学（大津）,龍谷大学,） 30分以内（びわこ学院大学,）	◎	15
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	東大津高校,滋賀医科大学,立命館大学(学生・生徒数15478人)	◎	9
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	3km以内（） 15分以内（テクノカレッジ草津,） 30分以内（工業技術総合センター,琵琶湖環境科学研究センター,琵琶湖博物館,衛生科学センター,総合病院研究所,）	○	10
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	10,630,576	△	3
		4-1-5	法人本部との連携	6	車60分	×	0
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6			
			小計	60			37
総合点		当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30				
		計				132	
		コスト要件				0	
		合計		(小計ーコスト要件)		132	

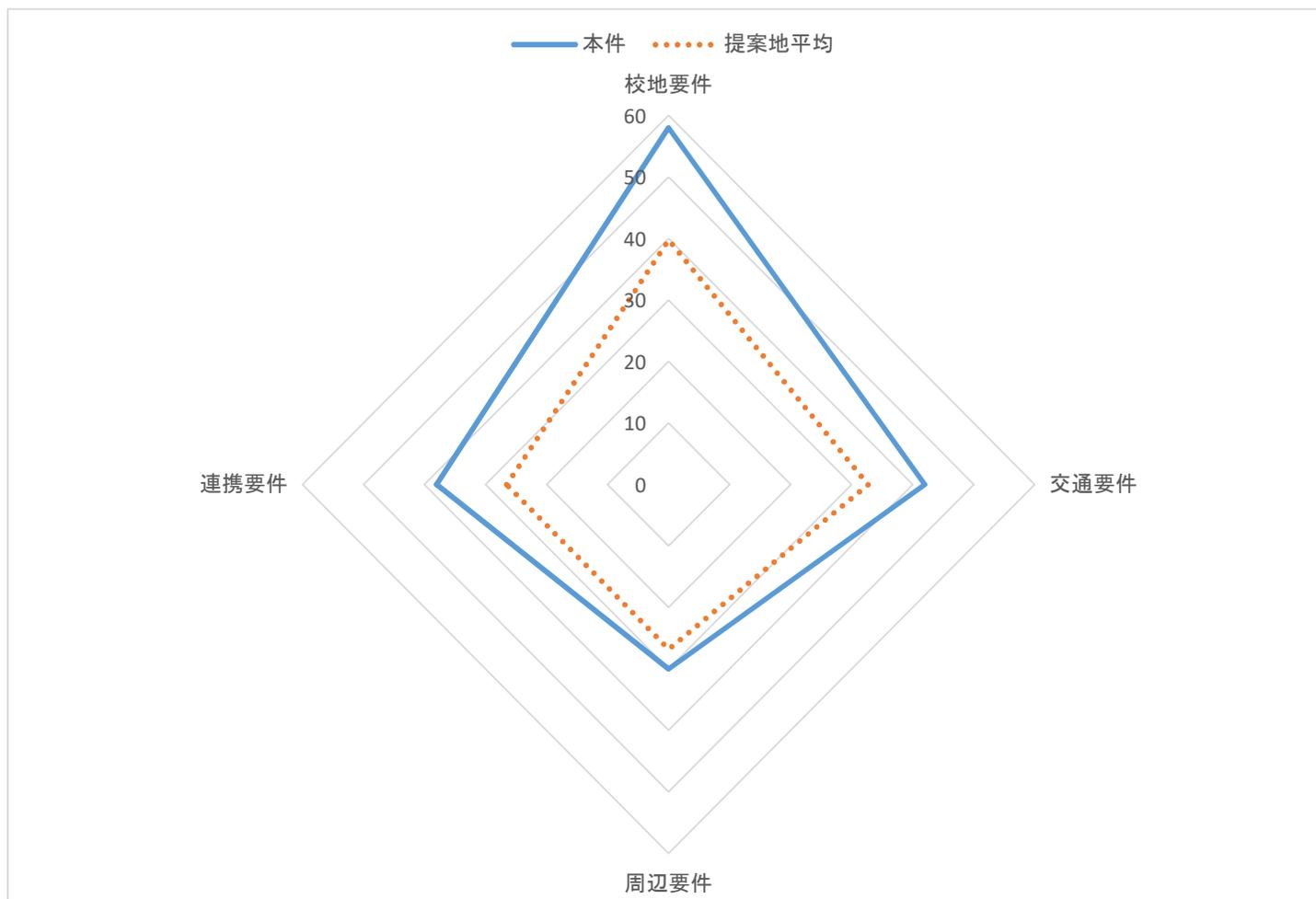
(参考：総合点除き) 132

1 大津市青山学区市有地

2 彦根市JR稲枝駅西側地区

<p>所在地 所在図 土地形状</p>	<p>彦根市彦富町</p>  <p>地理院地図より作成</p> <p>画像 ©2022 Maxar Technologies、地図データ ©2022 100 m</p>
<p>交通条件</p>	<p>JR琵琶湖線 稲枝駅 200m 徒歩3分</p>
<p>土地面積 法令条件等</p>	<p>40,450 m² (隣接地に市が整備する多目的グラウンドを使用可能) (市が取得費造成費を実質負担)</p> <p>民有地 現状: 田 市街化調整区域 農用地区域内農地(青地) 埋蔵文化財包蔵地である</p>
<p>危険度</p>	<p>浸水可能性(10年確率) 0.5m未満 液状化可能性(PL値) PL値15以上 周辺の活断層の存在 なし</p>
<p>その他</p>	

2 彦根市JR稻枝駅西側地区



区分	本件	提案地平均	順位
校地要件	58	39.8	2
交通要件	42	32.7	4
周辺要件	30	26.8	1
連携要件	38	26.6	1
総合点	0	0.0	1
小計	168	125.8	1
コスト要件	4	3.1	4
合計点	172	128.9	1

2 彦根市JR稲枝駅西側地区

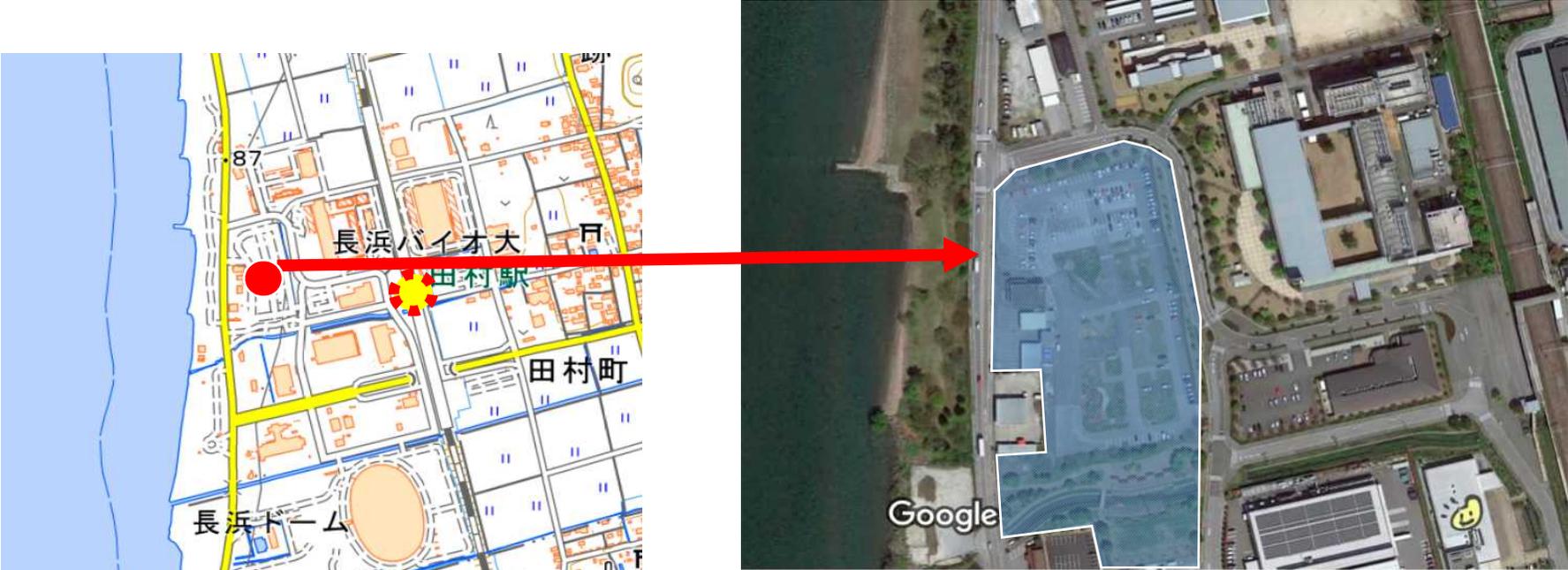
項		目	配点	内容	評価	点数	
必須要件		① 最低限の校地面積	必須		○		
		② 用地取得の確実性	必須		○		
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須		○		
		④ 危険区域の有無	必須		○		
校地要件	安全性	1-1-1 浸水可能性	3	0.5m未満	◎	3	
		1-1-2 液状化可能性	3	PL値15以上	△	1	
		1-1-3 活断層の有無	6	なし	◎	6	
	建築・設計の柔軟性	1-2-1 校地面積	30	隣接地のグラウンドを使用することが可能であり、換算値50,000㎡以上 (50,450㎡)		◎	30
		1-2-2 景観条例や建蔽率等の制限	3	なし		◎	3
		1-2-3 土地の形状	15	整形・平坦・2方向		◎	15
		小 計		60			58
交通要件	通学の容易性	2-1-1 公共交通の利便性	9	3.7本/h	○	6	
		2-1-2 県内からのアクセス (後背人口)	30	40,189	○	20	
		2-1-3 県外からのアクセス	15	32,032	○	10	
		2-1-4 通学経路の安全性等	6	危険箇所なし	◎	6	
		小 計		60			42

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9
		3-1-3	学生の便利施設の立地	6	コンビニ◎、医院◎、ホームセンター◎	◎	6
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6			
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6			
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3			
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15			
		3-3-2	住宅密集地までの距離	6	近接していない	◎	6
		小計	60			30	
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	3km以内（聖泉大学,） 15分以内（滋賀県立大学,） 30分以内（滋賀大学（彦根）,びわこ学院大学,びわこリハビリテーション専門職大学,）	◎	15
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	聖泉大学(学生・生徒数505人)	△	3
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	3km以内（） 15分以内（農業技術振興センター,水産試験場,） 30分以内（東北部工業技術センター,ポリテクカレッジ滋賀（近江八幡）,）	○	10
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	22,740,237	○	6
		4-1-5	法人本部との連携	6	車15分以内	○	4
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6			
		小計	60			38	
総合点		当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30				
		計				168	
		コスト要件				4	
		合計		(小計ーコスト要件)		172	

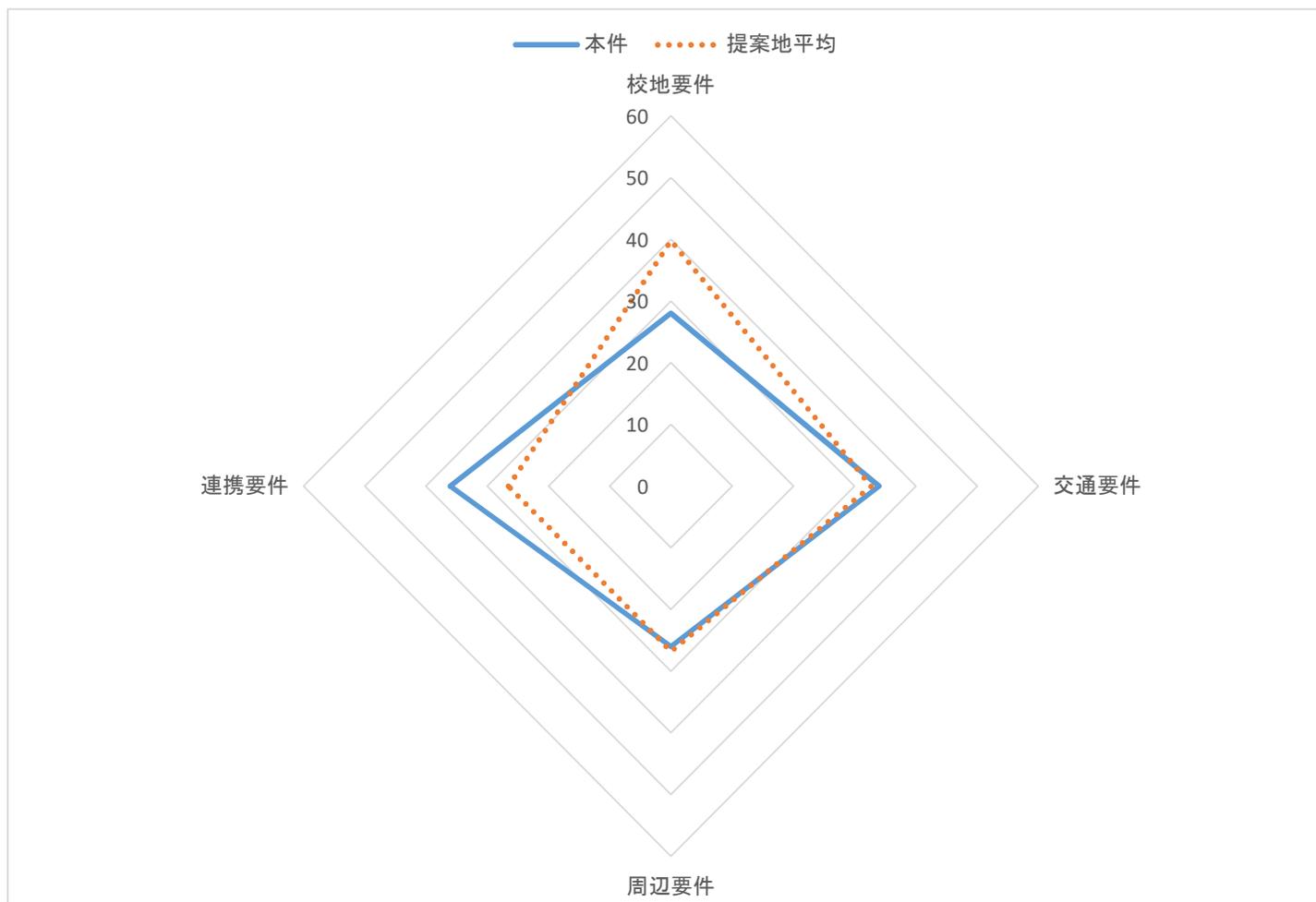
(参考：総合点除き) 172

2 彦根市 JR 稲枝駅西側地区

3 長浜市長浜バイオ大学駐車場他

<p>所在地 所在図 土地形状</p>	<p>長浜市田村町</p>  <p>地理院地図より作成</p> <p>画像 ©2022 Maxar Technologies、Planet.com、地図データ ©2022 50 m</p>
<p>交通条件</p>	<p>JR北陸線 田村駅 200m 徒歩3分</p>
<p>土地面積</p>	<p>20,400 m² (隣接施設のグラウンド等の使用を想定)</p>
<p>法令条件等</p>	<p>市有地+民有地 (市から県へ無償貸付) 現状: 学校駐車場(自動車学校跡地)、都市公園、緑地帯 市街化区域(準工業地域) 農地でない 埋蔵文化財包蔵地でない</p>
<p>危険度</p>	<p>浸水可能性(10年確率) 0.5m未満 液状化可能性(PL値) PL値15以上 周辺の活断層の存在 なし</p>
<p>その他</p>	<p>都市公園法による規制</p>

3 長浜市長浜バイオ大学駐車場他



区分	本件	提案地平均	順位
校地要件	28	39.8	7
交通要件	34	32.7	5
周辺要件	26	26.8	6
連携要件	36	26.6	3
総合点	0	0.0	1
小計	124	125.8	6
コスト要件	7	3.1	2
合計点	131	128.9	6

3 長浜市長浜バイオ大学駐車場他

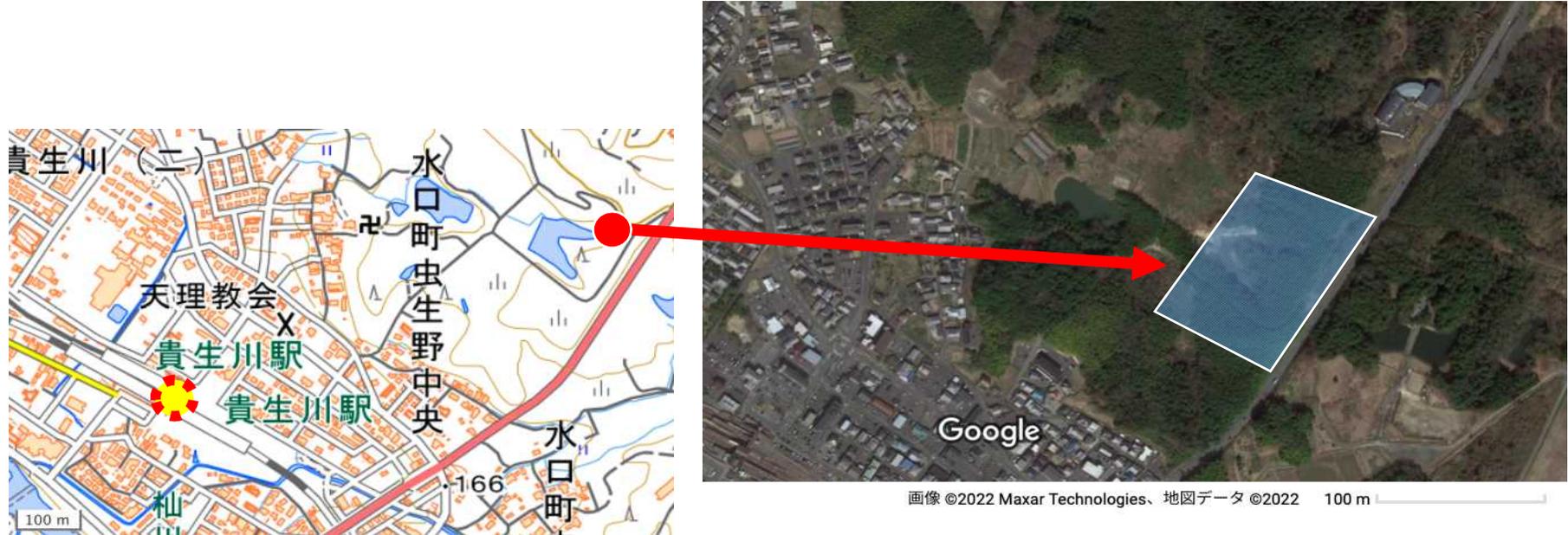
項		目	配点	内容	評価	点数	
必須要件		① 最低限の校地面積	必須		○		
		② 用地取得の確実性	必須		○		
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須		○		
		④ 危険区域の有無	必須		○		
校地要件	安全性	1-1-1 浸水可能性	3	0.5m未満	◎	3	
		1-1-2 液状化可能性	3	PL値15以上	△	1	
		1-1-3 活断層の有無	6	なし	◎	6	
	建築・設計の柔軟性	1-2-1 校地面積	30	隣接施設のグラウンド等を使用することが可能であり、換算値20,000㎡以上(27,900㎡)		×	0
		1-2-2 景観条例や建蔽率等の制限	3	なし		◎	3
		1-2-3 土地の形状	15	整形・平坦・2方向		◎	15
		小 計		60			28
交通要件	通学の容易性	2-1-1 公共交通の利便性	9	2.0本/h	△	3	
		2-1-2 県内からのアクセス(後背人口)	30	33,943	○	20	
		2-1-3 県外からのアクセス	15	21,925	△	5	
		2-1-4 通学経路の安全性等	6	危険箇所なし	◎	6	
		小 計		60			34

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9
		3-1-3	学生の利便施設の立地	6	コンビニ◎、医院○	△	2
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6			
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6			
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3			
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15			
		3-3-2	住宅密集地までの距離	6	近接していない	◎	6
		小計	60			26	
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	3km以内（長浜バイオ大学、） 15分以内（滋賀大学（彦根）、） 30分以内（滋賀県立大学、聖泉大学、）	◎	15
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	長浜北高校、長浜北星高校、滋賀文教短期大学、長浜バイオ大学（学生・生徒数2503人）	○	6
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	3km以内（） 15分以内（東北部工業技術センター、） 30分以内（水産試験場、）	○	10
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	12,831,716	△	3
		4-1-5	法人本部との連携	6	車30分以内	△	2
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6			
		小計	60			36	
総合点		当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30				
		計				124	
		コスト要件				7	
		合計		(小計ーコスト要件)		131	

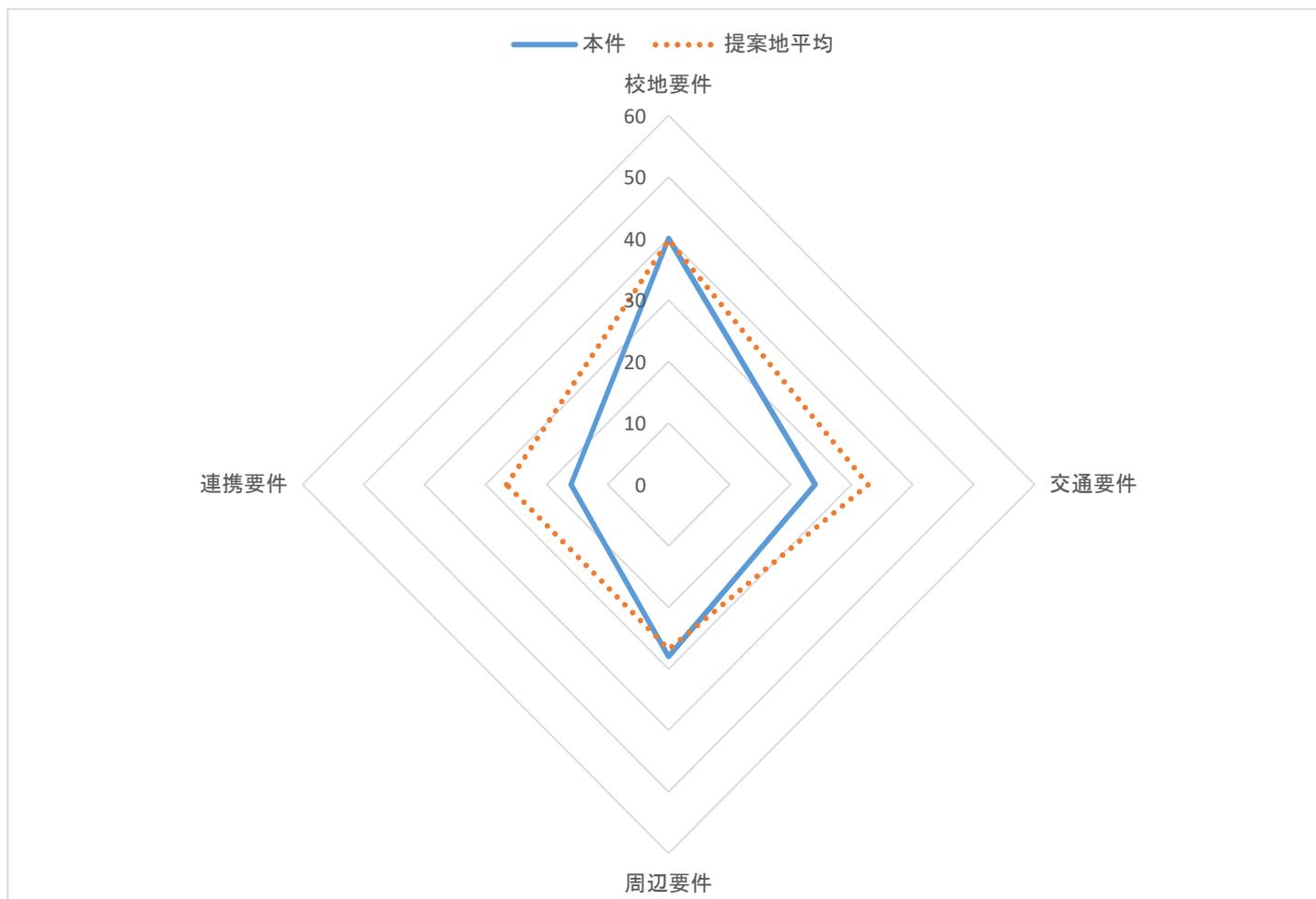
(参考：総合点除き) 131

3 長浜市長浜バイオ大学駐車場他

4 甲賀市虫生野北部丘陵地

<p>所在地 所在図 土地形状</p>	<p>甲賀市水口町虫生野字落シ谷</p>  <p>地理院地図より作成</p>
<p>交通条件</p>	<p>JR草津線、近江鉄道、信楽高原鉄道 貴生川駅 800m 徒歩10分</p>
<p>土地面積</p>	<p>約30,000 m²</p>
<p>法令条件等</p>	<p>民有地＋市有地 (県へ無償譲渡) 現状：山林と農地 市街化調整区域 農用地区域内農地(青地) 埋蔵文化財包蔵地である(一部)</p>
<p>危険度</p>	<p>浸水可能性(10年確率) なし 液状化可能性(PL値) PL値0 周辺の活断層の存在 なし</p>
<p>その他</p>	

4 甲賀市虫生野北部丘陵地



区分	本件	提案地平均	順位
校地要件	40	39.8	4
交通要件	24	32.7	6
周辺要件	28	26.8	3
連携要件	16	26.6	8
総合点	0	0.0	1
小計	108	125.8	7
コスト要件	0	3.1	5
合計点	108	128.9	7

4 甲賀市虫生野北部丘陵地

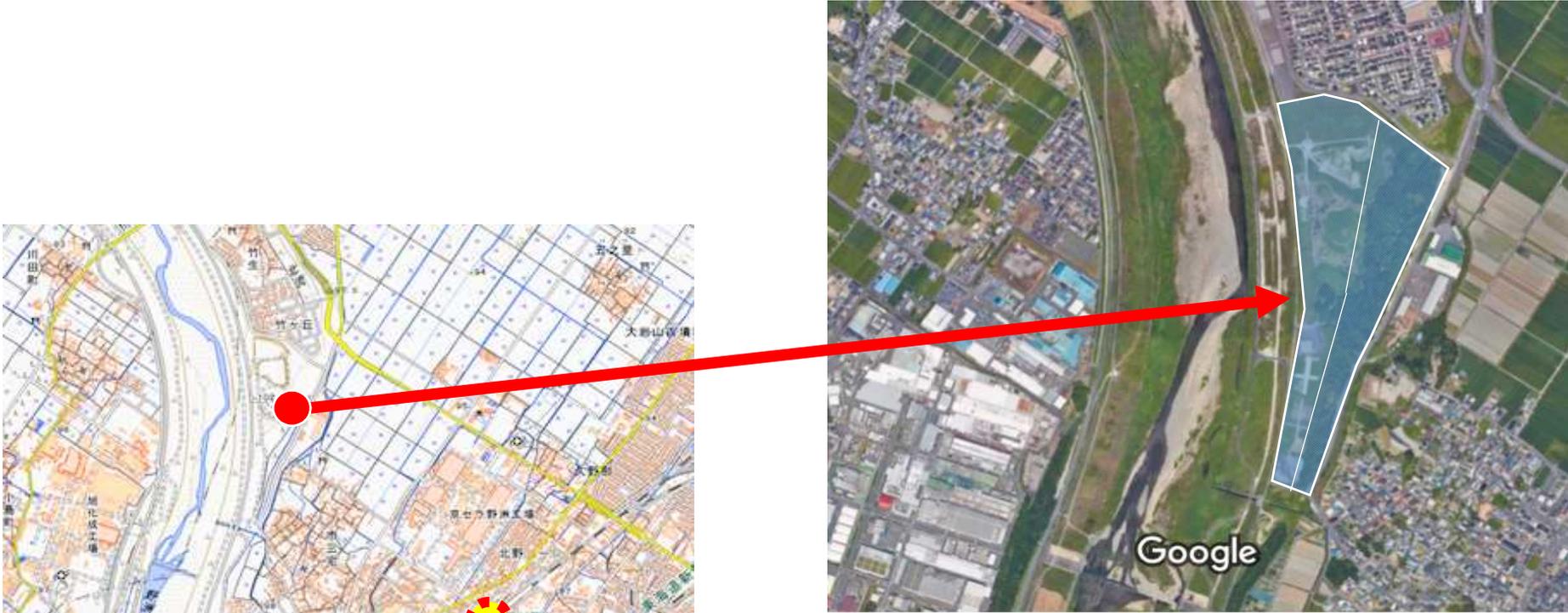
項		目	配点	内容	評価	点数
必須要件		① 最低限の校地面積	必須		0	
		② 用地取得の確実性	必須		0	
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須		0	
		④ 危険区域の有無	必須		○	
校地要件	安全性	1-1-1 浸水可能性	3	なし	◎	3
		1-1-2 液状化可能性	3	PL値0	◎	3
		1-1-3 活断層の有無	6	なし	◎	6
	建築・設計の柔軟性	1-2-1 校地面積	30	30,000㎡以上	△	10
		1-2-2 景観条例や建蔽率等の制限	3	なし	◎	3
		1-2-3 土地の形状	15	造成により整形・平坦・2方向	◎	15
		小 計	60			40
交通要件	通学の容易性	2-1-1 公共交通の利便性	9	2.0本/h	△	3
		2-1-2 県内からのアクセス（後背人口）	30	26,191	△	10
		2-1-3 県外からのアクセス	15	18,032	△	5
		2-1-4 通学経路の安全性等	6	危険箇所なし	◎	6
		小 計	60			24

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9
		3-1-3	学生の便利施設の立地	6	コンビニ◎、医院◎、ホームセンター○	○	4
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6			
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6			
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3			
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15			
		3-3-2	住宅密集地までの距離	6	近接していない	◎	6
		小計	60			28	
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	3km以内 () 15分以内 () 30分以内 (滋賀医科大学, 立命館大学,)	△	5
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	水口高校(学生・生徒数668人)	△	3
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	5km以内 () 15分以内 () 30分以内 (工業技術総合センター, 畜産技術振興センター)	△	5
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	19,208,832	△	3
		4-1-5	法人本部との連携	6	車60分	×	0
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6			
		小計	60			16	
総合点		当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30				
		計				108	
		コスト要件		既存施設活用、運営費低減+14		0	
		合計		(小計-コスト要件)		108	

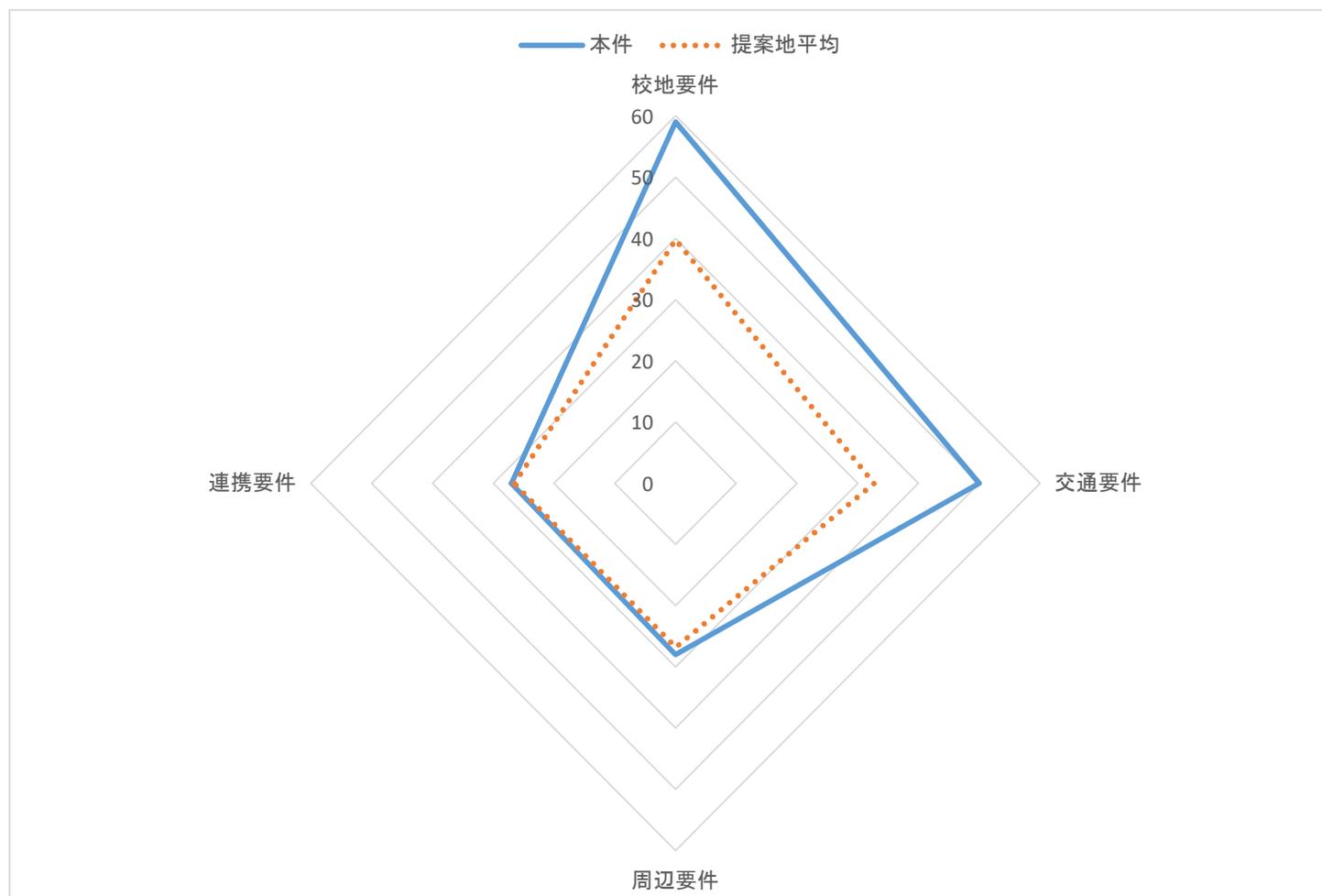
(参考：総合点除き) 108

4 甲賀市虫生野北部丘陵地

5 野洲市旧野洲川跡地

<p>所在地 所在図 土地形状</p>	<p>野洲市市三宅</p>  <p>地理院地図より作成</p> <p>画像 ©2022 CNES / Airbus、Maxar Technologies、Planet.com、地図データ ©2022 200 m</p>
<p>交通条件</p>	<p>JR琵琶湖線 野洲駅 1.3km 自転車6分 徒歩17分</p>
<p>土地面積</p>	<p>149,678.00 m²</p>
<p>法令条件等</p>	<p>県有地+国有地 (国有地に整備する防災公園について、無償使用) 現状: 林(県有地) 河川側帯(国有地) 市街化調整区域 農地でない 埋蔵文化財包蔵地でない</p>
<p>危険度</p>	<p>浸水可能性(10年確率) 0.5m未満 液状化可能性(PL値) PL値5~15未満 周辺の活断層の存在 なし</p>
<p>その他</p>	<p>国有地には、市が防災公園を整備(グラウンド等)。平常時は高専で使用可</p>

5 野洲市旧野洲川跡地



区分	本件	提案地平均	順位
校地要件	59	39.8	1
交通要件	50	32.7	1
周辺要件	28	26.8	3
連携要件	27	26.6	5
総合点	0	0.0	1
小計	164	125.8	2
コスト要件	6	3.1	3
合計点	170	128.9	2

5 野洲市旧野洲川跡地

		項 目	配点	内容	評価	点数
必須要件		① 最低限の校地面積	必須		○	
		② 用地取得の確実性	必須		○	
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須		○	
		④ 危険区域の有無	必須		○	
校地要件	安全性	1-1-1 浸水可能性	3	0.5m未満	◎	3
		1-1-2 液状化可能性	3	PL値5~15未満	○	2
		1-1-3 活断層の有無	6	なし	◎	6
	建築・設計の柔軟性	1-2-1 校地面積	30	50,000㎡以上	◎	30
		1-2-2 景観条例や建蔽率等の制限	3	なし	◎	3
		1-2-3 土地の形状	15	造成により整形・平坦・2方向	◎	15
			小 計	60		
交通要件	通学の容易性	2-1-1 公共交通の利便性	9	8.7本/h	◎	9
		2-1-2 県内からのアクセス（後背人口）	30	43,286	○	20
		2-1-3 県外からのアクセス	15	56,477	◎	15
		2-1-4 通学経路の安全性等	6	危険箇所なし	◎	6
			小 計	60		

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9
		3-1-3	学生の便利施設の立地	6	コンビニ◎、医院◎	○	4
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6			
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6			
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3			
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15			
		3-3-2	住宅密集地までの距離	6	近接していない	◎	6
		小計	60			28	
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	3km以内（） 15分以内（） 30分以内（滋賀大学（大津）、滋賀医科大学、龍谷大学、立命館大学、成安造形大学、びわこ学院大学、）	△	5
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	野洲高校(学生・生徒数419人)	△	3
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	3km以内（） 15分以内（総合病院研究所、ポリテクカレッジ滋賀（近江八幡）、） 30分以内（工業技術総合センター、琵琶湖博物館、衛生科学センター、農業技術振興センター、テクノカレッジ草津、）	○	10
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	30,304,510	◎	9
		4-1-5	法人本部との連携	6	車40分	×	0
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6			
		小計	60			27	
総合点		当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30				
		計				164	
		コスト要件		造成、伐採		6	
		合計		(小計ーコスト要件)		170	

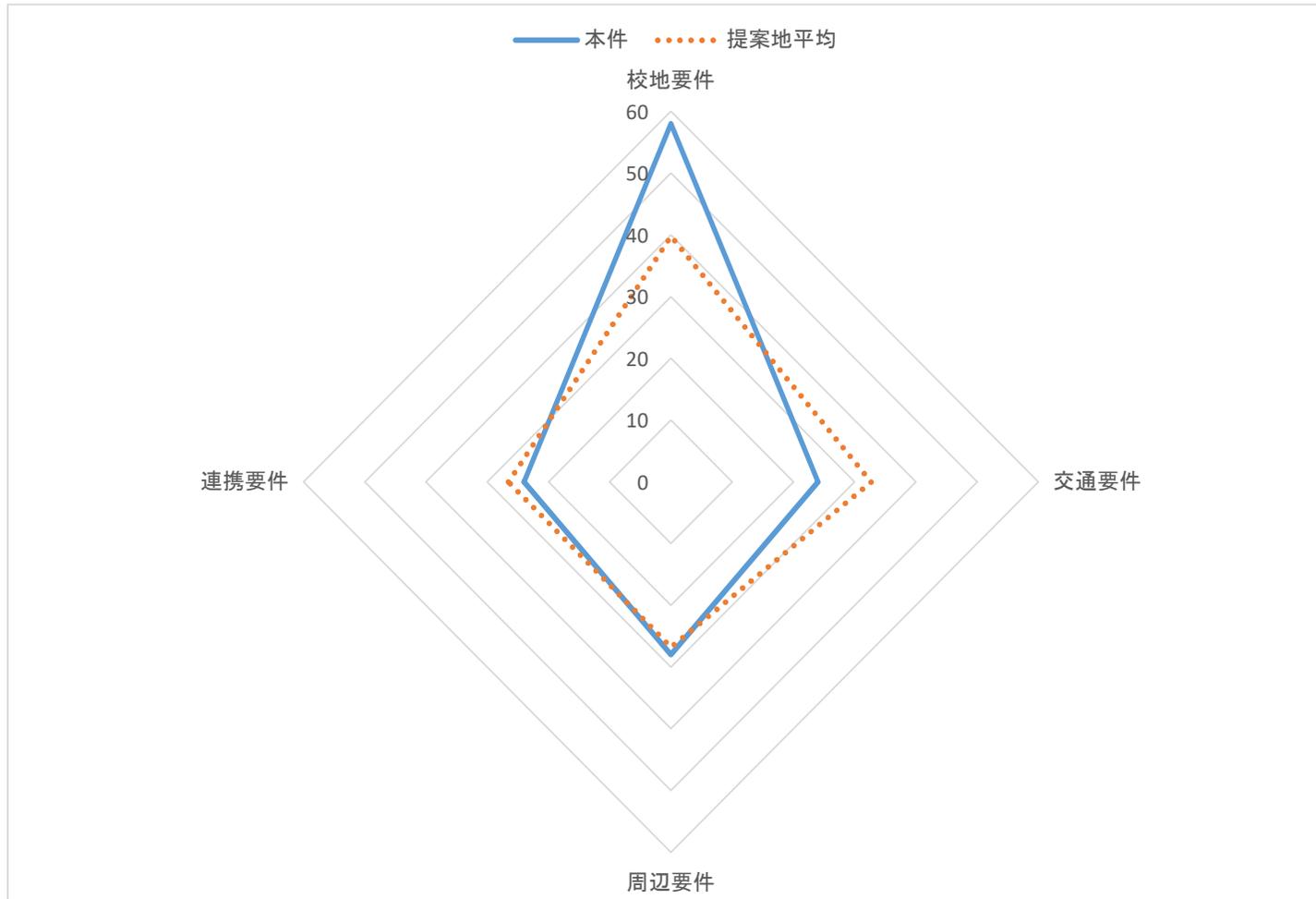
(参考：総合点除き) 170

5 野洲市旧野洲川跡地

6 湖南省市民グラウンド

<p>所在地 所在図 土地形状</p>	<p>湖南省高松町</p>  <p>地理院地図より作成</p>	 <p>画像 ©2022 Maxar Technologies、地図データ ©2022 100 m</p>
<p>交通条件</p>	<p>JR草津線 三雲駅 4km バス10分 徒歩50分</p>	
<p>土地面積</p>	<p>50,000㎡</p>	
<p>法令条件等</p>	<p>市有地 (県に無償貸付) 現状: 更地(元市民グラウンド) 市街化区域(工業地域)→準工業地域に変更予定 農地でない 埋蔵文化財包蔵地でない</p>	
<p>危険度</p>	<p>浸水可能性(10年確率) なし 液状化可能性(PL値) PL値15以上 周辺の活断層の存在 なし</p>	
<p>その他</p>	<p>都市公園指定地であり、解除に向け調整中</p>	

6 湖南省市民グラウンド



区分	本件	提案地平均	順位
校地要件	58	39.8	2
交通要件	24	32.7	6
周辺要件	28	26.8	3
連携要件	24	26.6	6
総合点	0	0.0	1
小計	134	125.8	3
コスト要件	0	3.1	5
合計点	134	128.9	4

総合点

--

6 湖南省市民グラウンド

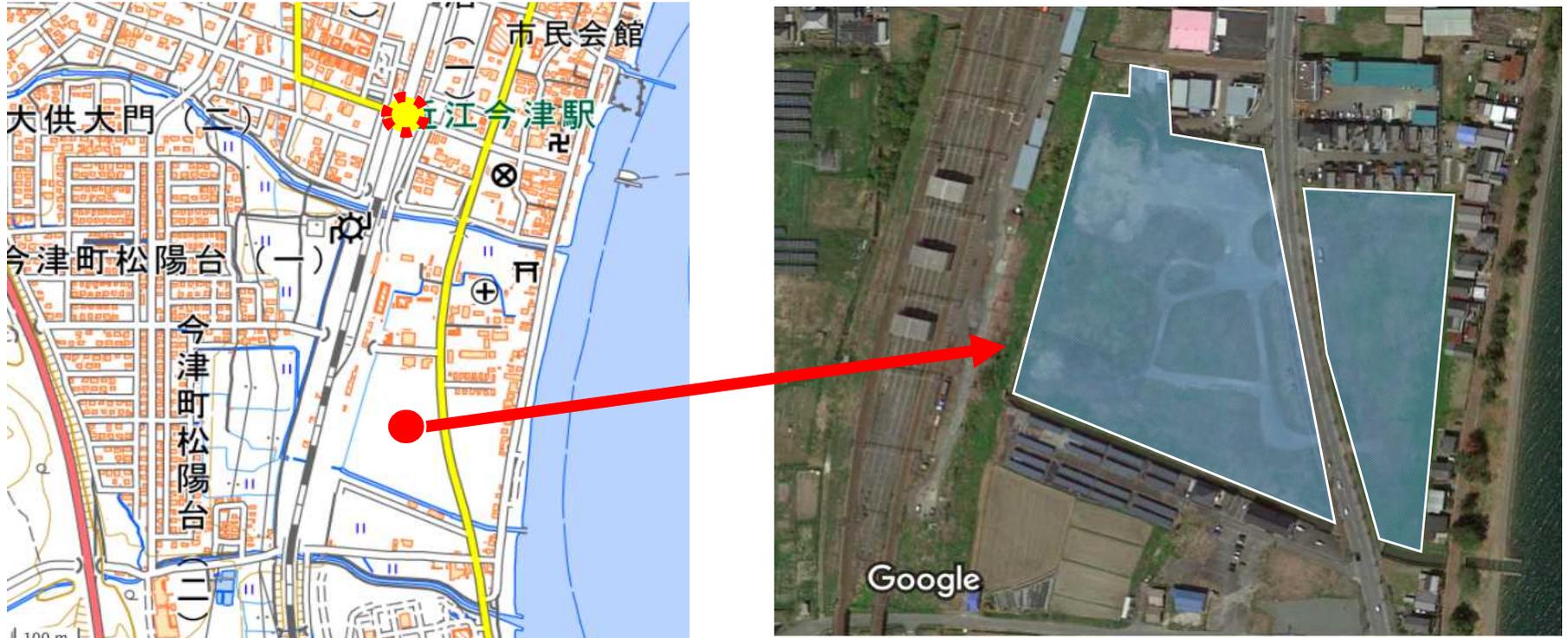
項		目	配点	内容	評価	点数
必須要件		① 最低限の校地面積	必須		○	
		② 用地取得の確実性	必須		○	
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須		○	
		④ 危険区域の有無	必須		○	
校地要件	安全性	1-1-1 浸水可能性	3	なし	◎	3
		1-1-2 液状化可能性	3	PL値15以上	△	1
		1-1-3 活断層の有無	6	なし	◎	6
	建築・設計の柔軟性	1-2-1 校地面積	30	50,000㎡以上	◎	30
		1-2-2 景観条例や建蔽率等の制限	3	なし	◎	3
		1-2-3 土地の形状	15	整形・平坦・2方向	◎	15
		小計	60			58
交通要件	通学の容易性	2-1-1 公共交通の利便性	9	2.2本/h	△	3
		2-1-2 県内からのアクセス（後背人口）	30	23,723	△	10
		2-1-3 県外からのアクセス	15	16,763	△	5
		2-1-4 通学経路の安全性等	6	危険箇所なし	◎	6
		小計	60			24

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9
		3-1-3	学生の便利施設の立地	6	コンビニ◎、医院◎、ホームセンター○	○	4
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6			
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6			
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3			
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15			
		3-3-2	住宅密集地までの距離	6	近接していない	◎	6
		小計	60			28	
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	3km以内 () 15分以内 () 30分以内 (滋賀大学 (大津), 滋賀医科大学, 龍谷大学, 立命館大学, びわこ学院大学, びわこリハビリテーション専門職大学,)	△	5
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	0	×	0
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	3km以内 () 15分以内 () 30分以内 (工業技術総合センター, 畜産技術振興センター, 総合病院研究所, テクノカレッジ草津, ポリテクカレッジ滋賀 (近江八幡),)	○	10
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	33,369,525	◎	9
		4-1-5	法人本部との連携	6	車50分	×	0
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6			
			小計	60			24
総合点		当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30				
		計				134	
		コスト要件				0	
		合計		(小計ーコスト要件)		134	

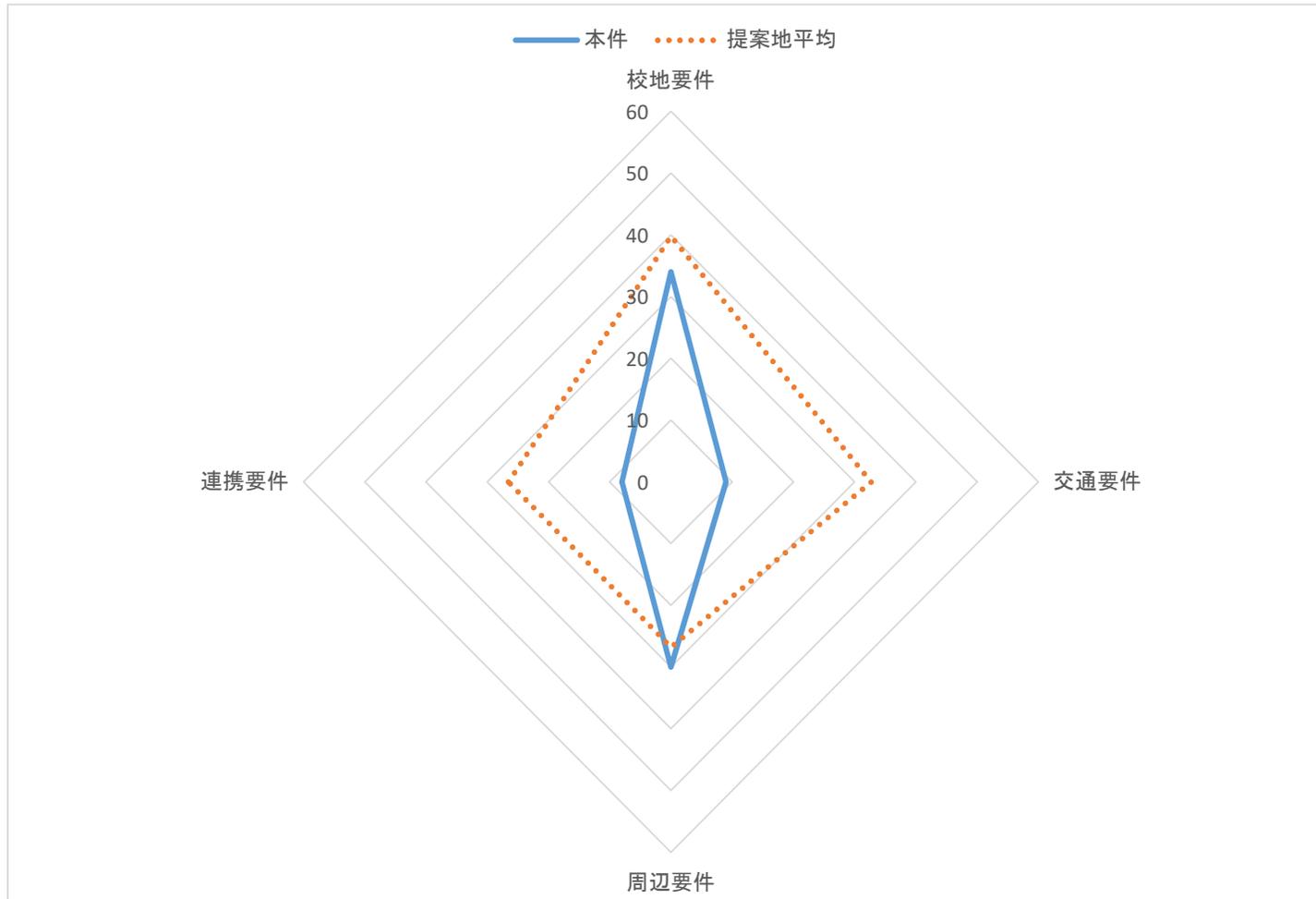
(参考：総合点除き) 134

6 湖南省市民グラウンド

7 高島市今津町南沼市有地

<p>所在地 所在図 土地形状</p>	<p>高島市今津町今津字南沼</p>  <p>地理院地図より作成</p> <p>画像 ©2022 Maxar Technologies、地図データ ©2022 50 m</p>
<p>交通条件</p>	<p>JR湖西線 近江今津駅 600m 徒歩7分</p>
<p>土地面積 法令条件等</p>	<p>35,516 m²</p> <p>市有地 (県に売却) 現状: 空き地 非線引き都市計画区域(準工業地域) 農地でない 埋蔵文化財包蔵地でない</p>
<p>危険度</p>	<p>浸水可能性(10年確率) 0.5m未満 液状化可能性(PL値) PL値15以上 周辺の活断層の存在 活断層1km以内</p>
<p>その他</p>	

7 高島市今津町南沼市有地



区分	本件	提案地平均	順位
校地要件	34	39.8	5
交通要件	9	32.7	9
周辺要件	30	26.8	1
連携要件	8	26.6	9
総合点	0	0.0	1
小計	81	125.8	9
コスト要件	0	3.1	5
合計点	81	128.9	9

7 高島市今津町南沼市有地

項		目	配点	内容	評価	点数
必須要件		① 最低限の校地面積	必須		○	
		② 用地取得の確実性	必須		○	
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須		○	
		④ 危険区域の有無	必須		○	
校地要件	安全性	1-1-1 浸水可能性	3	0.5m未満	◎	3
		1-1-2 液状化可能性	3	PL値15以上	△	1
		1-1-3 活断層の有無	6	活断層 1 km以内	△	2
	建築・設計の柔軟性	1-2-1 校地面積	30	30,000㎡以上	△	10
		1-2-2 景観条例や建蔽率等の制限	3	なし	◎	3
		1-2-3 土地の形状	15	整形・平坦・2方向	◎	15
		小 計	60			34
交通要件	通学の容易性	2-1-1 公共交通の利便性	9	2.0本/h	△	3
		2-1-2 県内からのアクセス (後背人口)	30	7,762	×	0
		2-1-3 県外からのアクセス	15	4,621	×	0
		2-1-4 通学経路の安全性等	6	危険箇所なし	◎	6
		小 計	60			9

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9
		3-1-3	学生の利便施設の立地	6	コンビニ◎、医院◎、ホームセンター◎	◎	6
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6			
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6			
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3			
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15			
		3-3-2	住宅密集地までの距離	6	近接していない	◎	6
		小計	60			30	
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	3km以内 () 15分以内 () 30分以内 (びわこ成蹊スポーツ大学,)	△	5
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	高島高校(学生・生徒数572人)	△	3
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	3km以内 () 15分以内 () 30分以内 ()	×	0
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	1,129,898	×	0
		4-1-5	法人本部との連携	6	車70分	×	0
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6			
		小計	60			8	
総合点		当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30				
		計				81	
		コスト要件				0	
		合計		(小計ーコスト要件)		81	

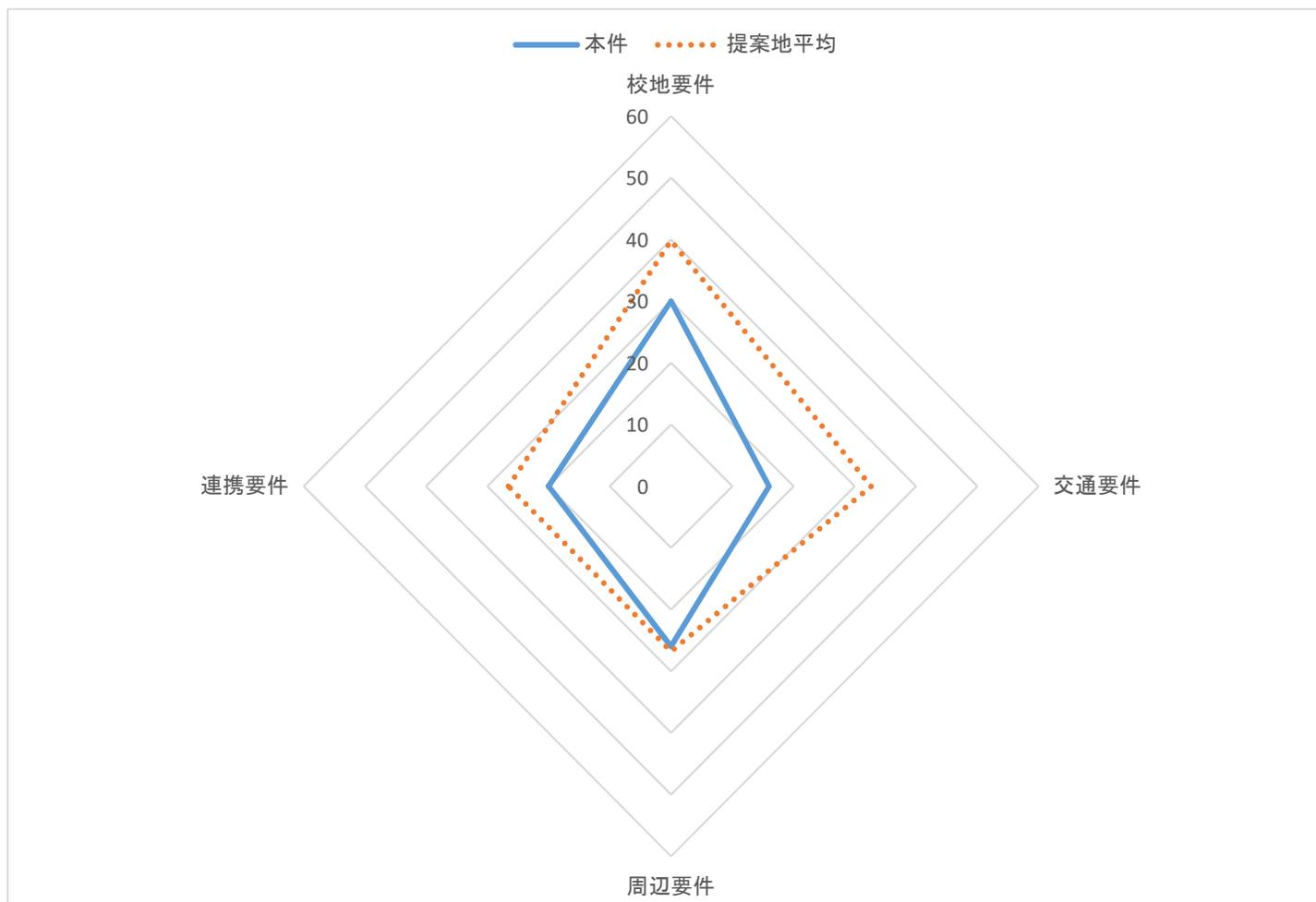
(参考：総合点除き) 81

7 高島市今津町南沼市有地

8 東近江市蒲生幼稚園跡地

<p>所在地 所在図 土地形状</p>	<p>東近江市大塚町</p>  <p>地理院地図より作成</p> <p>画像 ©2022 Maxar Technologies、地図データ ©2022 50 m</p>
<p>交通条件</p>	<p>近江鉄道朝日大塚駅 800m 徒歩10分</p>
<p>土地面積</p>	<p>27,558 m²</p>
<p>法令条件等</p>	<p>市有地 (県に無償譲渡) 現状:更地、グラウンド、山林 市街化調整区域 農地でない 埋蔵文化財包蔵地でない</p>
<p>危険度</p>	<p>浸水可能性(10年確率) なし 液状化可能性(PL値) PL値0 周辺の活断層の存在 なし</p>
<p>その他</p>	<p>河川保全区域(一部)</p>

8 東近江市蒲生幼稚園跡地



区分	本件	提案地平均	順位
校地要件	30	39.8	6
交通要件	16	32.7	8
周辺要件	26	26.8	6
連携要件	20	26.6	7
総合点	0	0.0	1
小計	92	125.8	8
コスト要件	0	3.1	5
合計点	92	128.9	8

8 東近江市蒲生幼稚園跡地

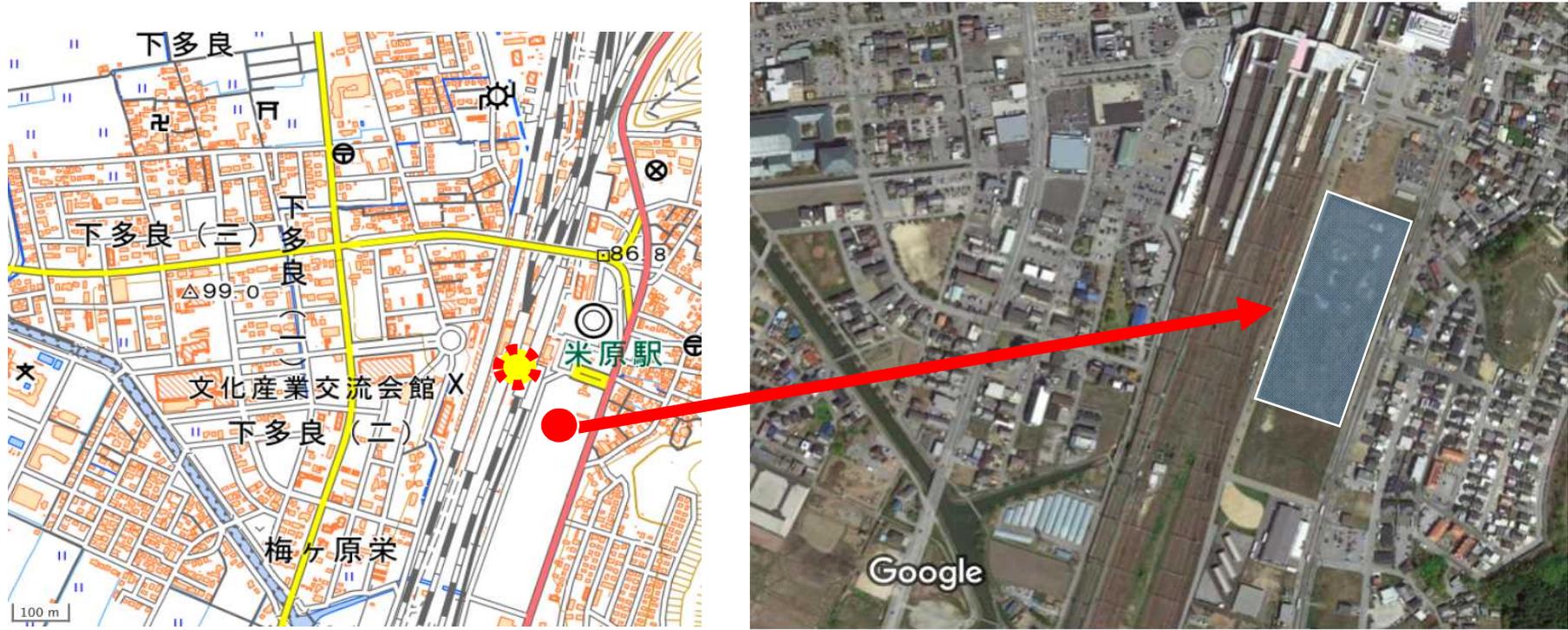
項		目	配点	内容	評価	点数
必須要件		① 最低限の校地面積	必須		0	
		② 用地取得の確実性	必須		0	
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須		0	
		④ 危険区域の有無	必須		○	
校地要件	安全性	1-1-1 浸水可能性	3	なし	◎	3
		1-1-2 液状化可能性	3	PL値0	◎	3
		1-1-3 活断層の有無	6	なし	◎	6
	建築・設計の柔軟性	1-2-1 校地面積	30	20,000㎡以上	×	0
		1-2-2 景観条例や建蔽率等の制限	3	なし	◎	3
		1-2-3 土地の形状	15	整形・平坦・2方向	◎	15
		小計	60			30
交通要件	通学の容易性	2-1-1 公共交通の利便性	9	1.7本/h	×	0
		2-1-2 県内からのアクセス（後背人口）	30	20,712	△	10
		2-1-3 県外からのアクセス	15	0	×	0
		2-1-4 通学経路の安全性等	6	危険箇所なし	◎	6
		小計	60			16

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	なし	◎	9
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9
		3-1-3	学生の便利施設の立地	6	コンビニ○、医院○	△	2
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6			
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6			
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3			
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15			
3-3-2		住宅密集地までの距離	6	近接していない	◎	6	
		小計	60			26	
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	3km以内（） 15分以内（びわこ学院大学、） 30分以内（滋賀医科大学、立命館大学、聖泉大学、びわこリハビリテーション専門職大学、）	○	10
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	0	×	0
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	3km以内（） 15分以内（畜産技術振興センター、） 30分以内（工業技術総合センター、農業技術振興センター、ポリテクカレッジ滋賀（近江八幡）、）	○	10
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	8, 108, 175	×	0
		4-1-5	法人本部との連携	6	車40分	×	0
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6			
			小計	60			20
総合点		当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30				
		計				92	
		コスト要件				0	
		合計		(小計-コスト要件)		92	

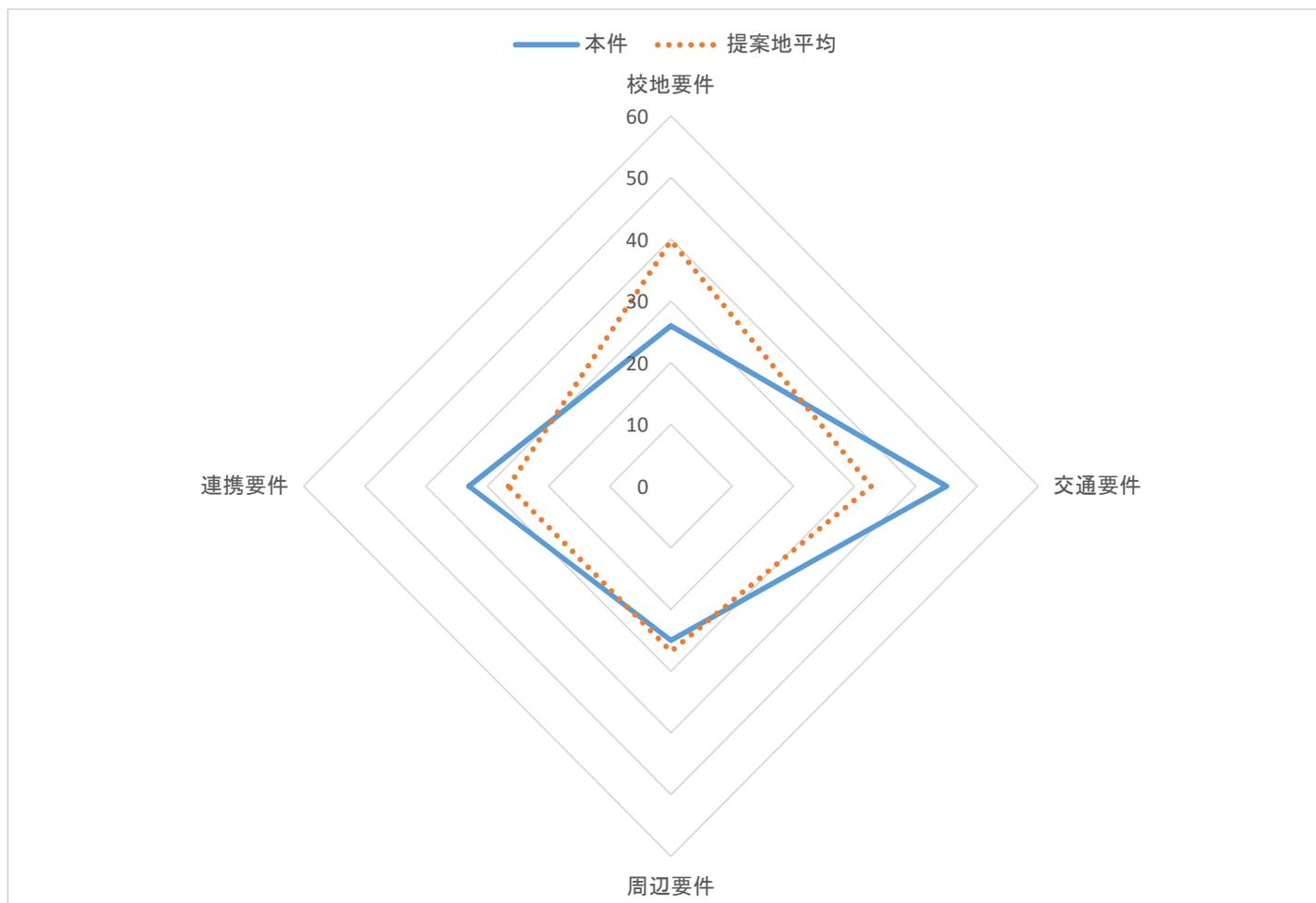
(参考：総合点除き) 92

8 東近江市蒲生幼稚園跡地

9 米原市米原駅東口公有地

<p>所在地 所在図 土地形状</p>	<p>米原市米原他</p>  <p>地理院地図より作成</p> <p>画像 ©2022 Maxar Technologies、地図データ ©2022 100 m</p>
<p>交通条件</p>	<p>JR琵琶湖線、新幹線、近江鉄道 米原駅 150m 徒歩2分</p>
<p>土地面積</p>	<p>22,000 m²</p>
<p>法令条件等</p>	<p>県有地+市有地 (市有地無償貸付) 現状: 更地 市街化区域(近隣商業地域) 農地でない 埋蔵文化財包蔵地でない</p>
<p>危険度</p>	<p>浸水可能性(10年確率) なし 液状化可能性(PL値) PL値15以上 周辺の活断層の存在 推定活断層まで2km強</p>
<p>その他</p>	<p>※米原市提案は、当該地に民有地30,000m²を加えたものであったが、両土地の距離は800m以上離れ、かつ線路を跨ぐなど通常より移動が困難であることから、一体的な利用が可能とは言えない。したがって、本土地のみで評価する。</p>

9 米原市米原駅東口公有地



区分	本件	提案地平均	順位
校地要件	26	39.8	8
交通要件	45	32.7	3
周辺要件	25	26.8	8
連携要件	33	26.6	4
総合点	0	0.0	1
小計	129	125.8	5
コスト要件	11	3.1	1
合計点	140	128.9	3

総合点

9 米原市米原駅東口公有地

項		目	配点	内容	評価	点数
必須要件		① 最低限の校地面積	必須		○	
		② 用地取得の確実性	必須		○	
		③ 法令上、高専の設置が可能	必須		○	
		④ 危険区域の有無	必須		○	
校地要件	安全性	1-1-1 浸水可能性	3	なし	◎	3
		1-1-2 液状化可能性	3	PL値15以上	△	1
		1-1-3 活断層の有無	6	推定活断層まで2km強	○	4
	建築・設計の柔軟性	1-2-1 校地面積	30	20,000㎡以上	×	0
		1-2-2 景観条例や建蔽率等の制限	3	なし	◎	3
		1-2-3 土地の形状	15	整形・平坦・2方向	◎	15
		小 計	60			26
交通要件	通学の容易性	2-1-1 公共交通の利便性	9	5.2本/h	◎	9
		2-1-2 県内からのアクセス（後背人口）	30	33,394	○	20
		2-1-3 県外からのアクセス	15	44,715	○	10
		2-1-4 通学経路の安全性等	6	危険箇所なし	◎	6
		小 計	60			45

周辺要件	教育上のふさわしさ	3-1-1	騒音・振動・臭気等の有無	9	鉄道（頻繁）	○	6
		3-1-2	教育上ふさわしくない施設の立地	9	なし	◎	9
		3-1-3	学生の利便施設の立地	6	コンビニ◎、医院◎	○	4
	地域をフィールドとする多様な学び	3-2-1	特徴的な活動フィールド①	6			
		3-2-2	特徴的な活動フィールド②	6			
		3-2-3	特徴的な活動フィールド③	3			
	周辺の理解	3-3-1	地元自治体・経済界等による支援	15			
		3-3-2	住宅密集地までの距離	6	近接していない	◎	6
		小計	60			25	
連携要件	教育機関、企業等との連携	4-1-1	高専の学びの方向性と親和性の高い大学との連携による学びの相乗効果	15	3km以内（） 15分以内（滋賀大学（彦根）、長浜バイオ大学、） 30分以内（滋賀県立大学、聖泉大学、びわこリハビリテーション専門職大学、）	○	10
		4-1-2	同年代の学生・生徒との交流	9	米原高校（学生・生徒数708人）	△	3
		4-1-3	研究機関等の集積による拠点の形成	15	3km以内（東北部工業技術センター、） 15分以内（） 30分以内（水産試験場、）	◎	15
		4-1-4	工業系企業の集積度	9	14,522,700	△	3
		4-1-5	法人本部との連携	6	車20分	△	2
		4-1-6	その他特色ある主体との連携	6			
		小計	60				33
総合点		当該立地を活かした魅力ある学校づくり	30				
		計				129	
		コスト要件				11	
		合計		（小計ーコスト要件）		140	

（参考：総合点除き） 140

9 米原市米原駅東口公有地